

議会改革調査特別委員会より

# 議会に関するアンケート中間報告

委員長 太田 修

20歳から90歳以上の男女を対象として無作為抽出により2,000名の方にアンケートを5月30日に送付し、6月19日に〆切り、756通、38%の回答をいただきました。結果は下記のとおりです。

	①対象者数	②構成比	③抽出数	④回答数	⑤回答率	性別不明
20男	331	5%	91	20	22%	
20女	318	4%	87	16	18%	
30男	475	7%	130	26	20%	
30女	467	6%	128	43	34%	
40男	645	9%	177	47	27%	
40女	632	9%	173	60	35%	1
50男	578	8%	158	55	35%	
50女	583	8%	160	96	60%	2
60男	798	11%	219	94	43%	
60女	728	10%	200	103	52%	
70男	477	7%	131	70	53%	
70女	467	6%	128	68	53%	
80男	248	3%	68	23	34%	1
80女	434	6%	119	30	25%	
90以上男	28	0%	8	2	25%	
90以上女	87	1%	23	3	13%	
	⑥7,296	100%	⑦2,000	756	38%	

\*①対象者数  
白馬村住民台帳より年代・男女別総数

\*②構成比  
①対象者数÷⑥対象者総数(7,296名)

\*③抽出数  
⑦2000通×②構成比

\*⑤回答率  
④回答数÷③抽出数

一般的に回答率は、30%あれば信頼度が高いと言われています。今回の38%と高い回答率の結果は、皆さまの議会に対する関心と期待感の表れと受け止めています。なお、詳細につきましては、次号でご報告申し上げます。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。



500食対応の東御市学校給食センター

**議会研修報告**  
日時 7月15日(水)  
場所 東御市 共同調理場  
栄村 震災復興住宅

**共同調理場**  
村の緊急課題の一つ、学校給食共同調理場建設が検討されています。

今回、総務社会委員会では、学校給食共同調理場検討委員会の皆様にも声掛けをし、行政からも課長・担当職員とともに総勢23名で、東御市北御牧学校給食センターの視察を行いました。

平成27年1月に完成したばかりの県下では最新の調理場です。

調理能力通常500食/回の規模で、オール電化厨房でした。参加していただいた委員の方々からもたくさん質問があり、今後の検討委員会に役立てられるのではと期待しています。

**復興住宅**  
震災復興特別委員会では、東御市の学校給食センター視察にあわせて、栄村復興住宅の視察研修を実施しました。なお、事前研修として、6月16日に「公的賃貸住宅」の制度概要について、適用要件・入居対象者・国庫補助率等について、所管の山岸建設課長より説明を受けました。

栄村での研修は、復興住宅建設時の担当者より、建設用地の取得方法、復興住宅の形態・間取り・設備仕様・家賃・入居要件・入居者の選定、財政措置、復興住宅管理者としてのアドバイス・利用者の要望意見等の説明をいただき、その後復興住宅に向き、住宅内部等を視察しました。



栄村震災復興住宅(1棟2世帯 車庫付)